

# サニーメイズNEWS

2013年 5月

発行 株式会社サニーメイズ

TEL 054-365-5163

静岡県静岡市清水区横砂南町2-1

FAX 054-364-2578

## ● トウモロコシの在庫について

単位 100万ブッシェル

### (5月予測) 米国産 12年/13年クロープ

期首在庫	989 (約 2,510 万 t)
生産	10,780 (約 2 億 7,370 万 t)
輸入	125 (約 320 万 t)
国内消費	10,385 (約 2 億 6,380 万 t)
輸出	750 (約 1,900 万 t)
期末在庫	759 (約 1,920 万 t)
在庫率	6.8%

### (5月予測) 13年/14年クロープ

期首在庫	759 (約 1,920 万 t)
生産	14,140 (約 3 億 5,910 万 t)
輸入	25 (約 60 万 t)
国内消費	11,620 (約 2 億 9,500 万 t)
輸出	1,300 (約 3,300 万 t)
期末在庫	2,004 (約 5,090 万 t)
在庫率	15.5%

## ● 今後のトウモロコシ相場のポイント

強 (上昇) 材料

- ・ 米国コーンの作付け遅延懸念
- ・ 株高

弱 (下降) 材料

- ・ 米国コーンの作付け面積や、単収の対前年比増予想
- ・ ブラジル産コーンの生産量上方修正

## ● 13年/14年クロープに関して

トウモロコシ作付面積は2012年よりわずかに増加。米国農務省によれば、米国農家は9730万エーカーを作付けする(日本の面積は約9450万エーカー)意欲をもっており、実現すれば最も広い作付面積となります。従来のコーンベルト地帯の多くの州は、若干の面積減少ですが、アリゾナ、アイダホ、ミネソタ、ネバタ・・・といった州では、記録的な面積増となる見込みです。

然しながら、作付けの進捗が遅れています。昨年のような早魃被害はありませんが、長引く寒冷状態で、一部では未だに残雪もある状態です。(5月上旬時点)その為、作付け機器が土壌に入れずに待機している日が、長引いています。



収穫時期に霜が降りる事で、甚大な被害を受ける事を避ける為、土壌が乾燥する事をいつまでも待つ訳にはいかず、その場合には大豆へシフトせざるを得ない可能性も、検討しておく必要があります。

写真は5月4日のアイオワ州中部

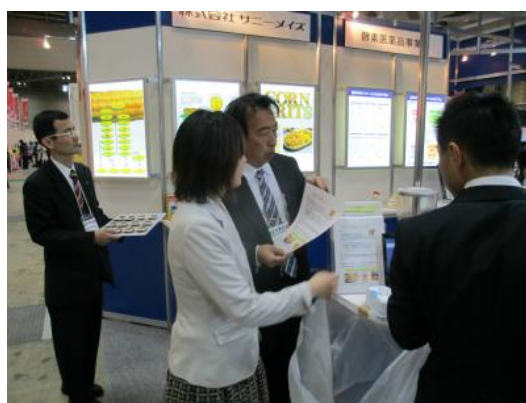
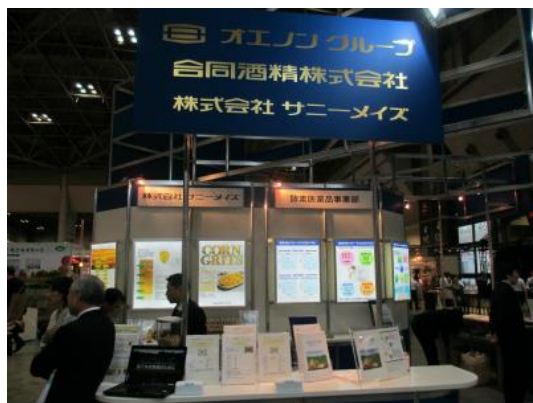
5月13日時点で、米国農務省が発表した作付け進展率は28%であり、過去5年平均の65%を大幅に下回っています。農学者の間では、5月10日を過ぎると8%、同20日を過ぎると15%の単収低下に繋がるとの見方が強まっている状況です。

そのような相場情報が日々混沌としており、不確定要素が多い為、今後の作付け完了やその後の気候及び生育状態が、注目されるところです。

※ 5月22日、作付けが急速に回復。過去5年平均79%に対し、71%まで回復との情報があります。

## ● FABEX 2013（中食・外食業界の業務用専門展示会）

4月3日（水）～5日（金）に、東京ビッグサイトで、中食・外食業界の業務用専門展示会「ファベックス」が開催され、グループ会社の合同酒精と共に、出展致しました。



不特定多数の来場者を、自社ブースに呼び込む事から、“なぜトウモロコシなのか”といった説明ノウハウ等、今後の課題も見つかりましたが、弊社にとって初の展示会出展で、これまでお取引のない事業者様にアピールする場として、有意義な時間となりました。